

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

事業名	栄養ケア活動支援整備事業			担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	健康課栄養指導室			栄養指導室長 河野 美穂		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	平成27年度栄養ケア活動支援整備事業の実施について (平成27年6月10日付け健発0610第8号厚生労働省健康局長 通知)					
主要政策・施策	高齢社会対策、食育推進			主要経費	社会保障					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	現在、平成23年から平成37年在宅療養者が17万人から29万人、居宅要介護者が335万人から510万人に増加すると推計されており、現状の医療施設等に勤務する管理栄養士等では対応することが困難なため、栄養ケアを担う人材の確保が急務である。このため、潜在管理栄養士等を発掘し、その人材を医療施設等において効率的に活用する必要がある。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	増大する在宅療養者に対する食事・栄養支援を行う人材が圧倒的に不足していることから、潜在管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケアの先駆的活動を行う公益法人等の取組の促進・整備を行う。 ※補助率 10/10									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
		計	40	40	40	40	30			
	執行額		40	40	29					
	執行率(%)		100%	100%	73%					
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	例年規模(成果実績:200人)の在宅療養者の栄養ケアを担う人材を確保する		栄養ケアの担い手として登録した潜在管理栄養士数	成果実績	人	256	188	189	-	-
				目標値	人	300	300	200	-	200
				達成度	%	85.3	62.6	94.5	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	採択団体数		活動実績	団体	6	9	6	-		
			当初見込み	団体	5	5	8	8		
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	X: 当該年度執行額/Y: 栄養ケアの担い手として登録した潜在管理栄養士数		単位当たり コスト	千円	156	213	153	-		
			計算式	X/Y	40百万/256	40百万/188	29百万/189	40百万/200		
平成 28・ 29年度 予算内訳 (単 位: 百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	疾病予防対策事業費等補助金		40	30	事業実績を踏まえた予算積算の見直しによる減					
計		40	30							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	I－10 妊産婦・児童から高齢者に至るまでの幅広い年齢層において、地域・職場などの様々な場所で、国民的な健康づくりを推進すること											
	施策	I－10－2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るとともに、がんによる死亡者の減少を図ること											
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度				
		実績値	－	－	－	－	－	－					
			目標値	－	－	－	－	－	－				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	増大する在宅療養者に対する食事・栄養支援を行う人材が圧倒的に不足していることから、潜在管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケアの先駆的活動を行う公益法人等の取組の促進・整備を行うことで、栄養ケアを担う人材を確保する。												
	改革項目	分野：	－	－									
	（第1階層） KPI	KPI（第一階層）				単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
		成果実績	－	－	－	－	－	－					
目標値			－	－	－	－	－	－					
達成度			%	－	－	－	－	－					
（第2階層） KPI		KPI（第二階層）				単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度		
		成果実績	－	－	－	－	－	－					
			目標値	－	－	－	－	－	－				
			達成度	%	－	－	－	－	－				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
－													

事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項 目					評 価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	今後在宅療養者が増大することが推計されており、栄養ケアを担う人材の確保は急務で、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	民間団体等による取組をモデル的に実施することで、地域における医療施設等の管理栄養士の活用状況を把握し、好事例を全国的に広めていく必要があることから、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	今後在宅療養者が増大することが推計されており、栄養ケアを担う人材の確保は急務であり、当該事業は、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	実施団体を公募し、審査を行った上で補助先を決定しており、支出先の選定は妥当である。					
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。					無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。					○	民間団体等による先駆的な取組を支援することで、好事例を全国的に広められることから、受益者との負担関係は妥当である。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	補助金交付に当たり、事業に関する経費について外部有識者を交えて精査を行っている。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					○	実施団体を公募し、審査を行った上で補助先を決定しており、資金の流れの中間段階での支出は合理的なものである。					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケアの先駆的活動を行うための事業の目的に必要な費目・使途となっている。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）					○	実施団体を公募し、審査を行った上で補助先を決定していたが、当初の想定より応募団体数が少なかったため。					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					○	実施団体の計画書の審査を行った上で費目・使途を決定している。事業の運営について、随時助言を行っている。					

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	実施団体を公募し審査の上、先駆的な栄養ケア活動を実施している団体を選定しており、活動実績は見込みに見合ったものである。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	実施団体を公募し審査の上、先駆的な栄養ケア活動を実施している団体を選定しており、活動実績は見込みに見合ったものである。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	民間団体等による先駆的な取組みによる事例は、今後、在宅療養者に対するきめ細やかな栄養ケアサービスの提供が可能となることが期待される。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
点検・改善結果	点検結果	27年度は、実施団体を公募し審査のうえ6団体を選定し、栄養ケア活動の担い手となる潜在管理栄養士を発掘・登録するための活動が適切に実施された。昨年度よりも、単位当たりコストは減少し、各種研修を行い登録管理栄養士の資質向上を目的とした事業が実施された。目的・予算の状況、資金の流れ、費目・使途、活動実績等についても適切であった。					
	改善の方向性	当事業は、外部有識者も含めた事業評価委員会を設置し、事業による効果や執行実態について評価を行っている。今後も適切な評価を行い、引き続き適正執行に努める。					
外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
一部の事業内容改善	在宅療養者が増大することが推計されており、そのための栄養ケアを担う人材の確保のために必要な事業であるが、執行率が低調であることから、実績を勘案して、予算積算を見直した上で、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
縮減	実績を勘案して予算積算を見直し、引き続き適正な執行に努める。						
備考							
-							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	新24-0012		
平成25年度	292	平成26年度	304	平成27年度	316		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

厚生労働省
29百万円

〔 事業計画の審査、指導等 〕



【補助: 公募】

A. 公益社団法人等(6)
29百万円

〔 潜在管理栄養士等の人材確保、関係機関・関係職種と連携した栄養ケア活動事業の実施 〕

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(公社)大分県栄養士会			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	事務局職員雇い上げ賃金、協力依頼等	2.7			
	需用費	報告書等印刷費、消耗品費	1.4			
	旅費	会議出席者交通費等	0.5			
	報償費	講師謝礼	0.2			
	使用料及び賃借料	研修会場借用費	0.2			
	役務費	配送料等	0.2			
	保険料	栄養ケア係員傷害保険	0.1			
	計		5.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公社)大分県栄養士会	2320005008194	調剤薬局を活用した栄養ケア	5.3	-	-	-	
2	(公社)茨城県栄養士会	2050005010707	医療機関や地域ボランティア組織と連携した栄養ケア	5	-	-	-	
3	(公社)埼玉県栄養士会	2030005000486	地域の特性に基づいた栄養ケアシステムの確立	5	-	-	-	
4	(公社)京都府栄養士会	7130005012401	地域の医療関係者と連携した栄養ケア	5	-	-	-	
5	(公社)兵庫県栄養士会	7140005020403	関係機関と連携した栄養ケア	5	-	-	-	
6	(学)駒澤学園	7013405000169	地域と大学の連携による栄養ケア	3.5	-	-	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	